

補助金の現状と自治会に活動支援

質問

市の補助団体にどのような基準で金額を決定しているのか。

企画部長

外部審査については、今後の重要な課題である。

質問

平成28年度からは交付税が減額され、財源も厳しくなるが、各種団体への補助金の見直しの考えがあるか否か。

企画部長

市の単独補助金について、有効性を検証し、見直していく。

質問

市が各自治会、町内会の活

動を支援するために、どのような補助をしているか。

総務部長

町内会のイベント、社会教育的な事業に対して、補助している。

質問

他市では、道路清掃活動、定期的に清掃を行う団体、町内で資源物の回収活動に補助のガイドブックがあるが、これを作成できないか。

総務部長

町内会活動が活発になるようガイドブックの策定について考える。

質問

市の財政が緊迫している状況の中で、補助の必要性や額などを見直すべき時代だと私は考えるが、市長の考えは。

市長

市長選挙のマニフェストの一つとして掲げており、市の現状をしっかりと把握をして見直しも当然検討していく。

優良農地の登録制度導入

質問

市では農業従事者の高齢化が進み、農業従事者の意欲も減退している。農地の耕作放棄地、遊休農地の畑がふえる。その対策は。

質問

耕作できない農地を登録制度にして、情報を管理し耕作放棄地を防ぐ自治体もあるが、市の農地管理は。

経済建設部長

高齢化、後継者不足、耕作放棄地の増加などの問題は人・農地プランを策定し、諸問題解決に取り組んでいる。

経済建設部長

議員の言われる制度を勉強し、耕作放棄地防止対策について検討していく。



山岡 幹雄 議員

